

SRFD51 (スタンダードアンテナ)
SRFD51-L (ロングアンテナ)

SRFD55 (スタンダードアンテナ)
SRFD55-L (ロングアンテナ)

EN032U000 (2312U-BS)

本機の特徴 EX オペレーティングシステム

2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を使って連絡を円滑におこなう (STR オンデマンド)

デュアル受信方式の SRFD51/SRFD55 は、A-ch と B-ch のどちらかのチャンネルが通話に使われていても、もう片方のチャンネルで通話ができますので、緊急時もスピーディで効率的な連絡を行うことができます



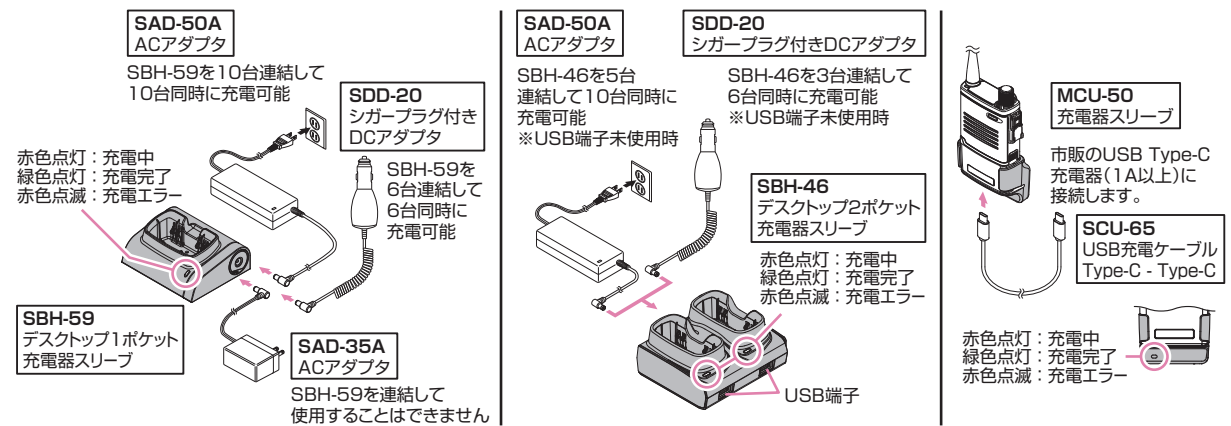
混信があってもメンバー全員がチャンネルを自動で移動 (テレポート機能)

SRFD51/SRFD55 は合計 8 チャンネル (2つの通話チャンネル A-ch/B-ch と、6つの予備チャンネル T1 ~ T6) の中から、2つの通話チャンネル (A-ch と B-ch) を使って通話を行い、6つの予備チャンネルを準備しています。混信が起きたときは一人がテレポートキーを押せば、メンバー全員が混信が起こりにくい予備チャンネルへ自動で移動して通話を続けることができます

現場の電波状況を分析して混信が起こりにくいチャンネルを準備する (エリアリサーチ機能)

エリアリサーチ機能は、あらかじめそのエリアの電波の混み具合を分析し A-ch、B-ch、T1 ~ T6 の全てのチャンネルを混信の少ないチャンネルに設定することができます

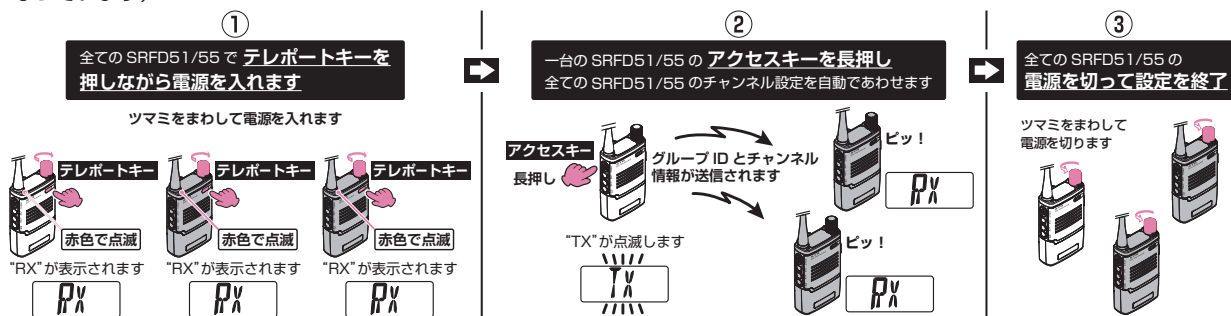
充電をする (充電時間は約3時間)



●使用可能時間: 20 時間以上 (交互通話、送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒の繰り返し運用を想定)

お使いになる前に

SRFD51/SRFD55 で通話をするために、はじめにグループ ID とチャンネルを設定します (出荷時はグループ ID は "00" になっています)



通話する

ツマミを右にまわして電源を入れ音量を最適な位置にあわせませ

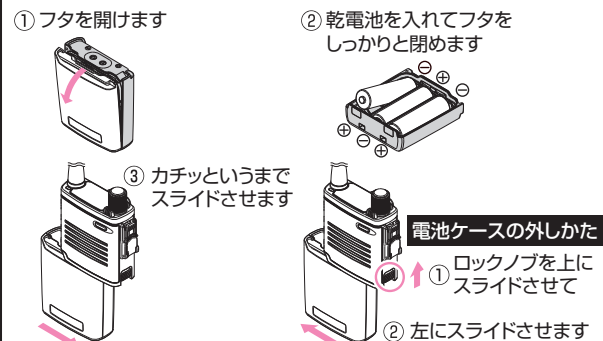


話をする時は **アクセスキー** を押してスピーカーに向かって話します 話が終わったらアクセスキーを放します

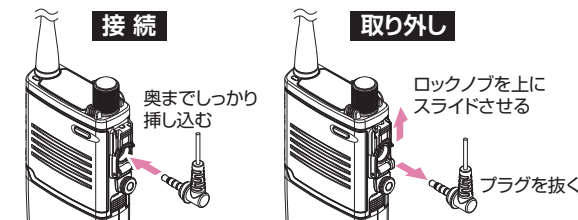


単三型アルカリ乾電池で使う

アルカリ乾電池3本で使用することができます (オプションの "SBT-18" が必要です)

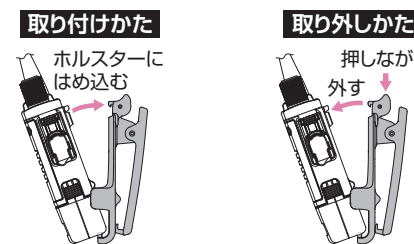


マイク、イヤピースプラグの接続 / 取り外し

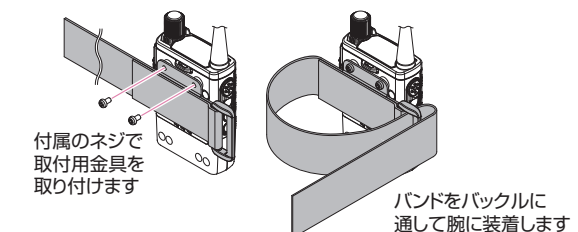


マイクやイヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

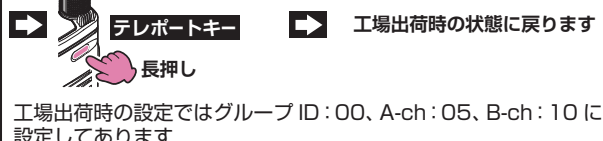
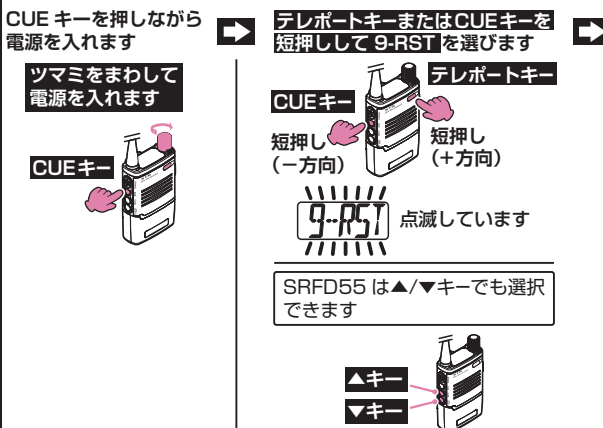
クイックリリースホルスターの使いかた



アームバンドの使いかた



正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す (リセット)



定格

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)
交互通話 (単信) 422MHz 帯 (20ch)
中継通話 (半復信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)

電波型式: F3E、F2D
通信方式: 単信方式および半復信方式
送信出力: 10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度: -6dBμV 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力: 内蔵スピーカー 700mW 以上 (@8Ω、10% 歪時)
動作温度範囲: -10°C ~ +50°C
定格電圧: DC 3.6V (リチウムイオンバッテリー)
DC 4.5V (単三形乾電池3本)

寸法: 約 58 (幅) × 83 (高さ) × 23.5 (奥行き) mm
(SBR-51L 装着時、アンテナおよび突起部を含みます)

重量: 約 165g (SBR-51L 装着時)

防塵・防水: IP68*

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります
* IEC (国際電気標準会議) に基づく粉塵や浸水に関する保護等級
防塵性: IP6X (耐塵形) 粉塵の侵入から完全に保護されていること
防水性: IPX8 (水中形) 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさないこと

RoHS 指令準拠

STR オンデマンドやテレポート機能の付いていないインカムでは、一部の機能が使えません

各部の説明

アクセスキーの操作

アクセスキーは好みにあわせて操作方法を変えることができます

- 1 プレスツートーク** (設定 F-01 で PTT を選びます)
送信する時に押し話します。押ししている間は送信を続け、放すと受信に戻ります
- 2 ワンクリック ハンズフリーオペレーション** (設定 F-01 で H-FR を選びます)
短押し：送信状態になり、話している間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか、再度アクセスキーを押すと受信に戻ります
長押し：押ししている間は送信を続け、放すと受信に戻ります
- 3 連続送信** (設定 F-01 で CNT を選びます)
送信する時に一度押し話します。もう一度押すまで連続して送信しています
- 4 送信禁止** (設定 F-01 で oFF を選びます)
受信専用になり送信はできません
※イヤピースやスピーカーマイクを接続している時は、送信中に「ブッ...ブッ...」と音が鳴って送信状態であることがわかります
※マイクを使用時に、誤って送信/受信が切りかわらないようにアクセスキーを無効にすることができます
機能設定項目 F-06 を「oFF」にしてください

受信中に2つの音声が同時に聞こえたときは、音声を聞きながらアクセスキーを押すと片方の音量を調節することができます

PCA機能
アクセスキーを押すたびに音量が以下のようになります

※マイク使用時のキーでも操作できます

CUE キーの操作

メンバーにアラームを鳴らして合図を送ります

CUE機能
CUEキーを短押ししてメンバーに合図を送ることができます
アラームの音量や種類は、機能設定項目 3-CUE F-05 で変更することができます

構内アナウンスする

CUEキーを押しながら話すと、中継器 EXR100A や構内アナウンス用ワイヤレススピーカー PSU10 のスピーカーから音声を出すことができます。構内アナウンスで使うときはあらかじめ、機能設定項目 F-21 を「oN」にしておきます

中継器使用時に中継器を使わずに通話をする

ローカル通話機能
中継器を使用して通話を行っているときでも、CUEキーを押しながら話すと近くにいるメンバーと中継器を使わないローカル通話ができます。ローカル通話機能は、アクセスキーを押すと中継チャンネル (A-ch) で送信、CUEキーを押すとローカル通話チャンネル (B-ch) で送信します
・ローカル通話機能を使う時はあらかじめ、機能設定項目 F-17 を「RP+」または「RP+」にしておきます

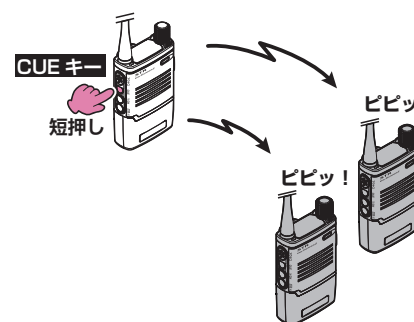
テレポートキーの操作

混信がある時に長押しします
メンバー全員が混信が起こりにくいチャンネルへ自動で移動します
・他のメンバーと通話ができない時は、自分のチャンネルが同期されていない場合がありますので、テレポートキーを短押しします
・特定のメンバーとだけ通話ができない場合は、そのメンバーのチャンネルが同期されていない場合がありますので、CUEキーとテレポートキーを同時に押しします

便利な機能

CUE (キュー) 機能でメンバーに合図を送る

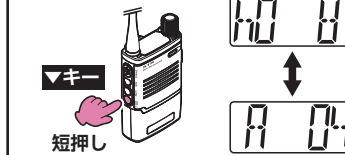
CUEキーを短押しすると、メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます



画面の表示を180度回転させる

インカムをベルトに取り付けている場合に、画面の表示を回転させて見やすくすることができます

SRFD55の場合
▼キーを短押しします。▼キーを短押しするたびに表示が回転します

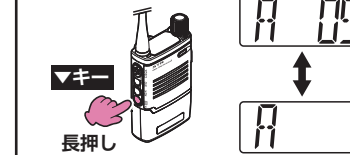


SRFD51の場合
機能設定項目 F-24 を「DREV」にすると画面が回転します「D oN」にすると元に戻ります

チャンネル表示を消す

チャンネル番号の表示を消すことができます

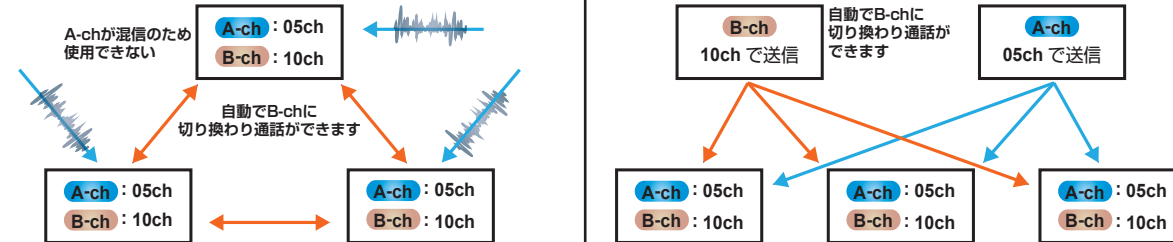
SRFD55の場合
▼キーを長押しします。もう一度▼キーを長押しすると、チャンネル番号が表示されます



SRFD51の場合
機能設定項目 F-24 を「D oF」にするとチャンネル番号の表示が消えます。「D oN」にするとチャンネル番号が表示されます

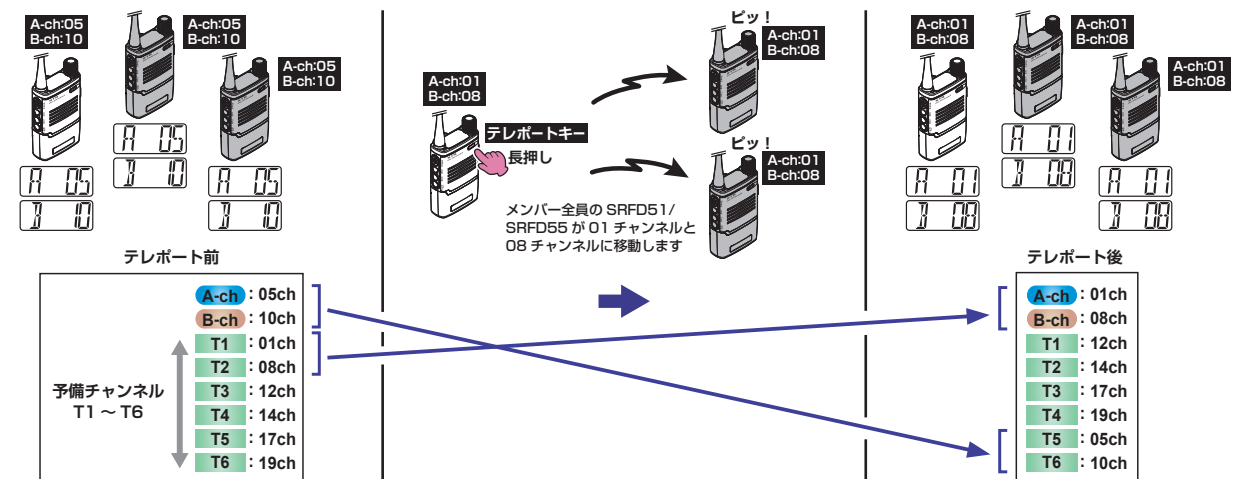
デュアル受信 (A-ch と B-ch) で連絡を円滑に行う (STR オンデマンド)

- A-ch で混信があっても B-ch で連絡が可能です。送信が自動で A-ch から B-ch へ切り替わります
- 片方のチャンネルが通話に使われていても別のチャンネルで通話ができます

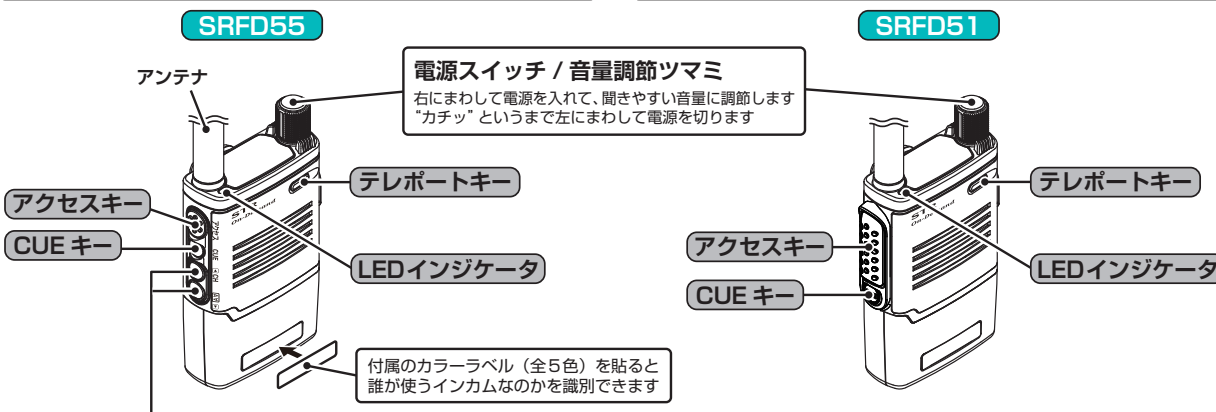


混信がある時にテレポートキーの長押しで A-ch、B-ch のチャンネルを自動で予備チャンネルと入れ替える (テレポート機能)

例: A-ch: 05 B-ch: 10 で使用中 → 一人がテレポートキーを長押しします 全員が新しい通話チャンネルに自動で移動 → 全員が混信が起こりにくい新しいチャンネルで通話を開始



- 混信が多いときは画面に「TP」が表示され、テレポート機能を使ってチャンネルを変えることを推奨します
- テレポート機能は、中継器使用時は使用できません



▲/▼キーの操作 (SRFD55のみ)

機能設定モードでは、設定項目や設定値の選択キーとして使います

▲キー 短押し：送信チャンネルを切り替えます。送信チャンネルが使われているときにアクセスキーを押すと自動で使われていないチャンネルで送信します
長押し：A-ch、B-chを手動で変えることができます
※チャンネルを変えたときはエアクローンで他のSRFD51/SRFD55と新しいチャンネルを共有するか全てのインカムを手動で同じチャンネルに変えてください

▼キー 短押し：画面表示を上下逆にする
長押し：チャンネル番号を非表示にします。もう一度長押しするとともに戻ります

チャンネルの表示

A-ch表示例 (05ch) B-ch表示例 (10ch) チャンネル非表示例

チャンネルを非表示にしている時は「A」または「B」だけが表示されます
SRFD55でチャンネルを表示する時は、インカム側面の (A/B) キーを長押しします
SRFD51でチャンネルを表示する時は、機能設定項目 F-24 を「D oN」にしてください

バッテリーの残量表示

残量表示 (満充電時は表示されません)

表示なし → 多い → 少ない

点滅 (充電または交換してください)

バッテリー使用可能時間の目安 20時間以上
単機方式 (交互通話) で、送信6秒: 受信6秒: 待ち受け48秒の繰り返しによる運用を想定

LED インジケータ

赤点灯: 送信中
赤点滅: グループID およびテレポート機能設定を変更中
ホットライン送信中および受信中
緑点灯: 受信中
緑点滅: 異なるグループID 番号の信号を受信したとき (音声はミュートになっています)
赤と緑の点滅: エリアリサーチ機能動作中
オレンジ点滅: 構内アナウンス機能送信中
個別の設定を変更中
赤の速い点滅: チャンネルが使用中で送信できないとき

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

グループ ID を使えば、ID が異なる他のグループの信号は自動でミュートされます。A-ch で混信を受けても自動で B-ch で混信を気にせずに通話することができます



出荷時はグループ ID が "00" になっています。(他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください)

1 台の設定内容を変更する

- ① テレポートキーを押しながら電源を入れます**
ツマミをまわして電源を入れます
テレポートキー 赤色で点滅
"RX" が表示されます
- ② テレポートキーを短押しすると ID 番号が表示されます**
"ID 00" ~ "ID 99" のいずれかが表示されます
テレポートキー 短押し
例 ID が "01" の場合
- ③ テレポートキーを長押し**
テレポートキー 長押し
数字部分が点滅します
- ④ テレポートキーまたは CUE キーを短押しして ID 番号を "00" から "99" の間で変えます**
CUE キー 短押し (-方向) / テレポートキー 短押し (+方向)
SRFD55 は ▲/▼ キーでも選択できます
- ⑤ テレポートキーを長押しして決定します**
テレポートキー 長押し
設定項目に戻ります

他の SRFD51/SRFD55 へ変更内容をコピー (エアクローン) する

- ⑥ グループで使う他の SRFD51/SRFD55 のテレポートキーを押しながら電源を入れます**
ツマミをまわして電源を入れます
テレポートキー 赤色で点滅
"RX" が表示されます
- ⑦ ID 番号を変えた SRFD51/SRFD55 のアクセスキーを長押し**
アクセスキー 長押し
グループ ID が送信されます
グループ ID が送信されます
"TX" が点滅します
赤色で点滅
- ⑧ 全ての SRFD51/SRFD55 の電源を切って設定を終了**
ツマミをまわして電源を切ります

●グループ ID が違うと通話ができませのでご注意ください

マニュアルで A-ch、B-ch のチャンネルを変える

(チャンネルを変えた後は、他の SRFD51/SRFD55 に新しいチャンネルをコピー (エアクローン) するが個々に同じチャンネルを設定してください)

① ▲ / ▼ キーで A-ch、B-ch のチャンネルを変える (SRFD55 のみ)

1 台のチャンネルを変更する

- ① 一台の SRFD55 で ▲ キーを短押しして A-ch が B-ch を選び ▲ キーを長押しします**
▲ キー 長押し
チャンネルが点滅します
- ② ▲ / ▼ キーを短押しして A-ch が B-ch を選び ▲ キーを長押しします**
▲ キー 短押し / ▼ キー 短押し
チャンネルは 01 ~ 20 から選びます
- ③ ▲ キーを長押しして決定します**
▲ キー 長押し
- ④ もう片方のチャンネル (A-ch または B-ch) を変更する場合は、もう一度 ① ~ ③ の操作を行います**
- ⑤ 一度電源を切ります**
ツマミをまわして電源を切ります
他のインカムにチャンネルをコピーします

② テレポート機能設定で A-ch、B-ch のチャンネルを変える (SRFD51/SRFD55)

1 台のチャンネルを変更する

- ① テレポートキーを押しながら電源を入れます**
ツマミをまわして電源を入れます
テレポートキー 赤色で点滅
"RX" が表示されます
- ② テレポートキーまたは CUE キーを短押しして変更するチャンネルを選びます**
CUE キー 短押し (-方向) / テレポートキー 短押し (+方向)
SRFD55 は ▲/▼ キーでも選択できます
Aチャンネルを選んだ場合の表示
- ③ テレポートキーを長押し**
テレポートキー 長押し
現在の設定値が点滅します
- ④ テレポートキーまたは CUE キーを短押ししながらチャンネルを変えます**
CUE キー 短押し (-方向) / テレポートキー 短押し (+方向)
チャンネルは 01 ~ 20 から選びます
SRFD55 は ▲/▼ キーでも選択できます
- ⑤ テレポートキーを長押しすると設定を終了します**
テレポートキー 長押し
設定項目に戻ります
一度電源を切ります
他のインカムにチャンネルをコピーします

他の SRFD51/SRFD55 へ変更したチャンネルをコピー (エアクローン) する

- ⑥ 全ての SRFD51/SRFD55 で テレポートキーを押しながら電源を入れます**
ツマミをまわして電源を入れます
テレポートキー 赤色で点滅
"RX" が表示されます
- ⑦ チャンネルを変えた SRFD51/SRFD55 のアクセスキーを長押し**
アクセスキー 長押し
チャンネル情報が送信されます
"TX" が点滅します
赤色で点滅
- ⑧ 全ての SRFD51/SRFD55 の電源を切って終了**
ツマミをまわして電源を切ります

A-ch、B-ch、T1 ~ T6 をエリアリサーチ機能で準備した混信の少ないチャンネルグループに入れ替える

エリアリサーチ機能は、全てのチャンネル(全20チャンネル)の電波状態を分析して、混信が起こりにくいチャンネルを準備します

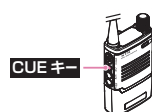
① 1台のSRFD51/SRFD55でエリアリサーチを始める

① 一台のSRFD51/SRFD55のアクセスキーを押しながら電源を入れます
"A-RSC"が表示されます



② そのままの状態ではしばらく放置します

- ・自動で電波の状況を調べています
時間が長いほど、混信のあるチャンネルを見つけることができます
- ・途中で電源を切っても、今までの電波状況は蓄積されています
- ・途中で CUE キーを長押しすると今まで蓄積された電波状況は消去されます



③ 一度電源を切ります



新しいA-ch、B-ch、T1 ~ T6チャンネルが準備されます

- A-ch : 16ch
- B-ch : 02ch
- T1 : 01ch
- T2 : 12ch
- T3 : 17ch
- T4 : 19ch
- T5 : 07ch
- T6 : 09ch

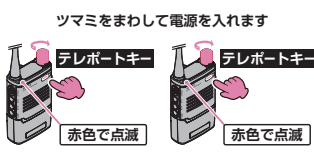
エリアリサーチ機能が電波の使用状況を自動的に分析

② エリアリサーチで準備したチャンネルを新しいチャンネルグループに移行する

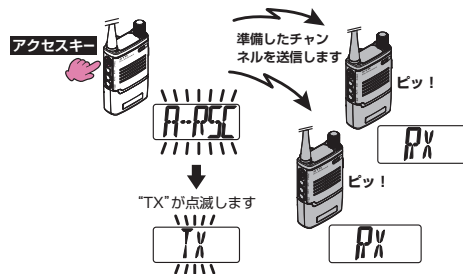
① エリアリサーチしたSRFD51/SRFD55のアクセスキーを押しながら電源を入れます
"A-RSC"が表示されます



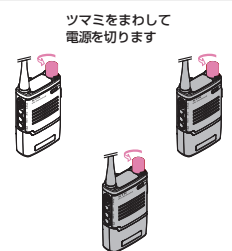
② グループで使う他のSRFD51/SRFD55のテレポートキーを押しながら電源を入れます



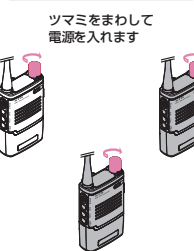
③ "A-RSC"が表示されているSRFD51/SRFD55のアクセスキーを長押しします
全てのSRFD51/SRFD55がエリアリサーチで選んだ新しいチャンネルグループになります



④ 全てのSRFD51/SRFD55の電源を切って設定を終了



⑤ 再度電源ツマミをまわして電源を入れて使用します



全てのSRFD51/SRFD55は新しいチャンネルで通話できるようになっています

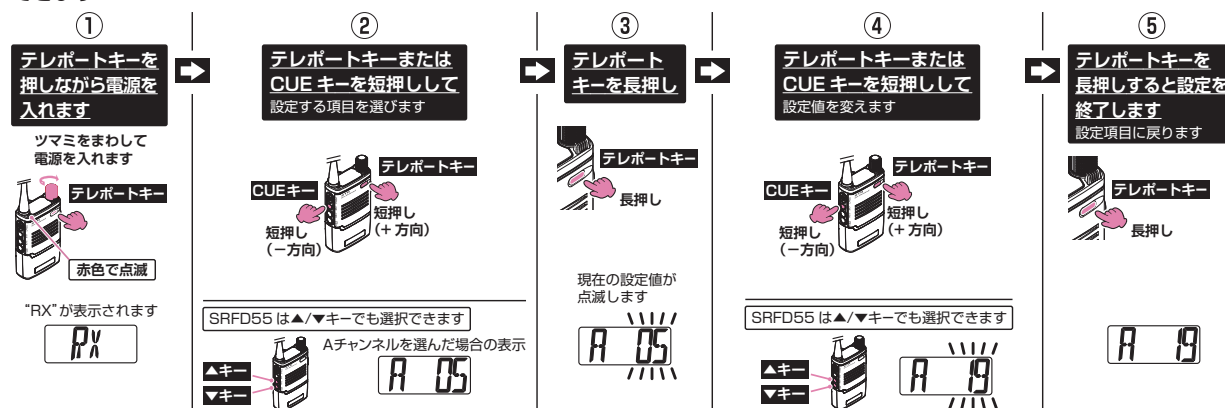
- 表示例
- A-ch : 16ch
 - B-ch : 02ch
 - T1 : 01ch
 - T2 : 12ch
 - T3 : 17ch
 - T4 : 19ch
 - T5 : 07ch
 - T6 : 09ch

テレポート機能を変更します (通常は変更する必要はありません)

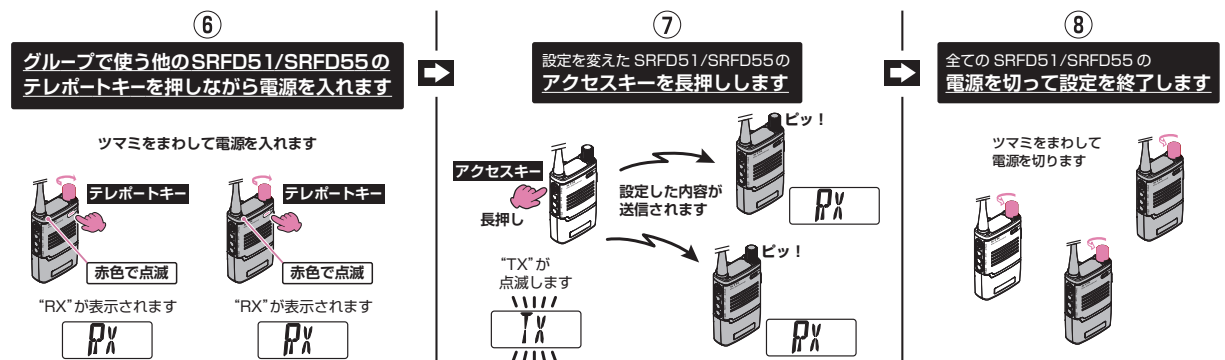
項目	出荷時の設定	機能
グループID 同じグループであることを識別するためのID番号を変えます。ID番号が違くと通話できません。他のグループが同じID番号を使っていて混信が起こる場合は、ID番号を変えます	00 00	00 00 ~ 00 99 : "ID 00" ~ "ID 99"の中から選びます
Aチャンネル 2つある通話チャンネルのうち"A-ch"のチャンネル番号を選びます	A 05	A 01 ~ A 20 : "01" ~ "20"の中から選びます
Bチャンネル 2つある通話チャンネルのうち"B-ch"のチャンネル番号を選びます	B 0	B 01 ~ B 20 : "01" ~ "20"の中から選びます
T1 ~ T6 "T1"から"T6"の予備チャンネルを個別に設定する時に使います。"T1"から"T6"にテレポート時に使う予備チャンネルを設定します	T1 01 ↓ T6 09	"01" ~ "20"の中から選びます
テレポート機能のON/OFF テレポート機能の動作をオフにして、テレポート機能のないインカムと通話ができます	TP oN	<p>TP oN : テレポート機能を使うことができます(通常はoNで使用します)</p> <p>TP Rx : テレポート機能は使えますが、自分からはチャンネル移動ができません</p> <p>TP oF : テレポート機能は動作しません。EXオペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通話ができます</p>

1台の設定内容を変更する

グループID、通話チャンネルのA-ch、B-ch、T1 ~ T6の予備チャンネル、テレポート機能のON/OFFを個別に変えることができます



他のSRFD51/SRFD55へ変更内容をコピー(エアクローン)する



EXオペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信

1. テレポート機能のON/OFF設定の"TP oN"を"TP oF"にします
2. A-chまたはB-chを他のインカムのチャンネルにマニュアルであわせませ